

学 位 論 文 要 旨

報告番号	帝京大 第 号	氏名	伊加（望月） 千夏子
<p>題目 妊娠初期の夫婦関係と妊娠初期ならびに妊娠中期の妊婦の胎児への愛着との関連</p> <p>著者名 望月 千夏子, 石舘 美弥子, 峰 友紗, 福田 吉治</p> <p>「掲載見込み」: 日本健康学会誌 第 89 巻 5 号 2023 年</p> <p>【目的】: 妊婦の胎児への愛着は、産後の母親の子どもへの愛着と関連しており、妊婦が母親役割に適応するための重要な要件である。妊婦の胎児への愛着の高さは、良好な生活習慣と関連し、胎児の健康を守る適切な行動に影響を与える。子どもを健やかに育てるためには、妊婦の胎児への愛着形成に影響する要因を明らかにすることが必要である。先行研究では、妊婦の胎児への愛着との関連要因には、年齢、収入、教育歴、妊娠の受容、妊娠週数、妊娠中の抑うつ、胎動の自覚が報告されており、母親自身に属する要因が多く検討されてきた。一方、社会的な要因を調査した研究では、パートナーを結婚相手として希望する程度という因子が、若年妊婦の胎児への愛着に関連することが報告されている。しかしこの調査は、妊娠末期を迎えた 20 歳未満の若年妊婦を対象とした研究成果であった。既に、妊娠期から胎児への養育が始まっていると考えると、妊娠末期に限らず妊娠初期からの夫婦関係と妊婦の胎児への愛着との関連について明らかにすること、また若年妊婦に限定しない年代を対象とすることは、「健やか親子 21」第 2 次計画の妊娠期からの推進支援施策において重要な課題と言える。本研究では、婚姻している初産婦を対象とし、妊婦の胎児への愛着に関連する各要因も含め、妊娠初期の夫婦関係と妊娠初期ならびに妊娠中期の妊婦の胎児への愛着との関連について明らかにすることを目的とした。</p> <p>【方法】: 首都圏の医療機関 4 施設において妊婦健康診査に通う初産婦を対象に、妊娠初期(妊娠 10～15 週)および妊娠中期(妊娠 20～24 週)の 2 時点において Web アンケートを実施し、妊娠初期の夫婦関係、妊娠初期ならびに妊娠中期の妊婦の胎児への愛着、基本属性等について調査を行った。夫婦関係は夫婦関係満足尺度 (Quality Marriage Index : QMI) を、妊婦の胎児への愛着は母親の胎児への愛着尺度 (Prenatal Attachment Inventory : PAI) を用いて評価した。データ収集は、2021 年 12 月～2022 年 6 月に実施した。妊娠初期の夫婦関係と妊娠初期ならびに妊娠中期の妊婦の胎児への愛着との関連について、相関分析および基本属性、妊娠初期の妊娠の受容、妊娠週数等を独立変数とした重回帰分析を行った。本研究は帝京大学医学系研究倫理審査委員会(参照番号:帝倫 21-148 号)により承認を得て実施した。</p> <p>【結果】: 妊娠初期ならびに妊娠中期の Web アンケートで、有効回答が揃った 138 名を分析対象とした。妊娠初期の QMI 得点と妊娠初期の PAI 得点 ($\rho = 0.29$ $p < 0.01$)、ならびに妊娠初期の QMI 得点と妊娠中期の PAI 得点($\rho = 0.28$ $p < 0.01$)は有意な相関関係を示した。妊娠初期の QMI 得点と妊娠初期の PAI 得点の関連については、年齢、本人の収入、教育歴、妊娠初期の妊娠の受容、妊娠初期の妊娠週数を独立変数とした重回帰分析の結果、妊娠初期の QMI 得点が高い者ほど、妊娠初期の PAI 得点が高いことが示された (標準偏回帰係数 (β) = 0.20 $p < 0.05$)。なお、妊娠初期の妊娠の受容では、共存群は肯定群に比べて妊娠初期の PAI 得点が有意に低いことが示された ($\beta = -0.19$ $p < 0.05$)。妊娠初期の QMI 得点と妊娠中期の PAI 得点の関連については、年齢、本人の収入、教育歴、妊娠初期の妊娠の受容、妊娠中期の妊娠週数、妊娠中期の抑うつ、妊娠中期の胎動の自覚を独立変数とした重回帰分析の結果、妊娠初期の QMI 得点が高い者ほど妊娠中期の PAI 得点が高いことが示された ($\beta = 0.17$ $p < 0.05$)。なお、年齢が高い者ほど妊娠中期の PAI 得点有意に低くなることが示された ($\beta = -1.82$ $p < 0.05$)。</p>			

教育歴では専門教育群は中等教育群に比べ妊娠中期の PAI 得点が有意に高いことが示された ($\beta = 0.18$ $p < 0.05$)。

【結論】：妊娠初期の良好な夫婦関係は、妊娠初期ならびに妊娠中期の双方の時期において、妊婦の胎児への愛着を高める可能性があることが示唆された。妊婦の胎児への愛着を高めるためには、妊娠初期から妊娠中期にかけての夫婦関係の親密性を高める看護支援が必要ではないかと考えられた。

備考 掲載予定の場合は、掲載証明書を添付のこと。